

平成28年度学生と学長との懇談会  
 本学に対する大学院生からの意見・質問への回答

3 その他		回答
1 医科学 教育部	他の大学では、研究者間の交流の場があり、分野等に関係なく仲間が集まりお茶を飲んでいたり、珍しいものを置いてあるようなところで研究をどうしようか話し合える機会がある。徳島大学にも活発に研究や新しいネタを考えるのに繋がる交流の場所が欲しい。	研究者の交流の場は、大学としても必要と考えています。
2 口腔科学 教育部	授業料に関して個人的なことになってしまうが、大学院2年生まではありがたいことに授業料半額免除およびゆめ奨学金に採用されており、家計の面でも非常に助かっていた。しかし、3年生の後期では授業料半額免除、ゆめ奨学金との対象外になり授業料の全額負担となった。その理由については、3年次に岩垂育英会の奨学生に採用され、年間60万円の奨学金を受給しているためとのことであった。私本人の収入額面として増加していることは理解できるが、子供の養育等についてはどの程度考慮されているのか。授業料の免除申請の際にも主たる出資者の死亡・収入等に関する免除は記載があるが、子供の養育に関しては子ども手当など収入面の添付書類はあるが、保育所等の出資面（私の場合、子どもの保育園代として月〇万円ほどかかる）に関してはほとんど考慮されていないように感じるがいかがだろうか。	本学の授業料免除に係る家計の判定基準は、文部科学省通知により、「家計基準について、授業料免除の対象となる者は、その者の属する世帯の1年間の総所得金額が全額免除、半額免除ごとに決まっており、その収入基準額以下の者であること。この場合、総所得金額の算定は「総所得金額の算定方法」によること。」に基づいて処理をしています。「総所得金額の算定方法」には、子供の養育（保育所の出費）等については、考慮するようにはなっていない。しかし、収入基準額において、博士課程半額免除の収入基準額、世帯人員 1人 2,540,000円、2人 4,040,000円、3人 4,670,000円 等となっており、世帯人員の収入基準額で、考慮していると考えられます。
3 薬科学 教育部	蔵本体育館を改修してほしい。	蔵本体育館は昭和59年に建設され、平成12年に2階床の改修、平成28年に2階の照明LED化等を行ってきていますが、築30年以上たっており、老朽化しています。全面改修は難しいが、予算の範囲内でできる限り修繕等を行っていきたい。

平成28年度学生と学長との懇談会  
本学に対する大学院生からの意見・質問への回答

3 その他	回答
<p data-bbox="149 630 264 727">4 先端技術科学教育部</p> <p data-bbox="277 613 1196 743">本年に入り、私の研究室に所属予定の留学生と学生が交流する機会があり、その際留学生が研究室にいて日本人学生の異文化交流あるいは他言語への敷居が低くなると感じた。研究室での留学生の受入あるいは日本人学生の留学の機会がより増加すると思う。</p>	<p data-bbox="1226 370 2144 500">工学分野においても、専門的な知識や技術だけでなく日本を取り巻く世界の情勢に対応できる人材が求められています。留学生との交流はおっしゃるとおり、本学学生にとって異文化に触れ他言語を習得する最も手っ取り早く効果的な方法であると考えます。</p> <p data-bbox="1226 500 2144 987">大学院先端技術科学教育部には、キャンパスのグローバル化に対応すべく国際連携教育開発センターという留学生の受入れや本教育部・本学部学生を海外の大学等への派遣を支援する組織があり、海外の大学との学術交流に関する協定交渉を行ったり、積極的に留学生の受入れを進めたりしています。先端技術科学教育部では、特にダブルディグリーコースへの留学生の受入れを推進し、英語での講義・研究指導・共同研究の実施を通じて教育研究のグローバル化を進めています。皆さん方も留学生からあるいはセンターからいろいろな情報を得て、海外にある協定校へ留学あるいは海外企業でのインターンシップを挑戦してみてください。海外に行くと、より多くの異文化交流が可能となり何が必要とされているかがはっきりと分かります。更に、ダブルディグリーコース学生として海外の協定校に派遣されそれぞれの大学院を修了するのに必要な単位を修得すれば、本学とその協定校からそれぞれ学位を取得することが可能ですので、こちらもご検討いただければと思います。</p>